

店舗や敷地内での医師開業支援

◇ ◇

医師の開業支援は20年以上前から取り組み、近年は支援件数を伸ばしている。調剤薬局155店(11月1日時点)のうち、店舗の敷地内や隣接地にクリニックがあるのは138店、店舗建物内にクリニックがあるのは3店。2022年3月期は7件の支援実績があり、23年3月期は9件、24年3月期は14件を計画する。開業支援の特設ウェブページのほか、支援を受けて開業した医師のインタビュー記事などを掲載した冊子を新たに作成し配布するなどして開業を検討する医師を募集。クリニックの基本構想から経営理念、開業に至るまでを、社内の複数部署の担当者がサポートする。医師の治療方針を理解して処方薬を最大限生かす服

クリニック誘致 Vドラッグ注力

24年3月期 14件計画 患者の利便性高める

患者にとっては、クリニックと調剤薬局が至近距離にあることで利便性を感じられるほか、診察や処方待ち時間にドラッグストア店舗で買い物ができるといったメリットがある。

佐口弥専務は、将来的にバローグループのスーパーやスポーツクラブなどでも処方薬の受け取りができる仕組みを目指すとした上で「患者が薬を受け取りに行くのではなく、患者に薬を届けられるようにしたい」と話している。



店舗建物内にクリニックが入居する形態で昨年10月にオープンしたVドラッグ多治見駅南店
〓多治見市前畑町